

— コロナ禍の1年 —

病院長 田中 光

新型コロナウイルスは未曾有の速度で感染拡大し、3月25日時点では国内では46万人、世界の感染者は1億2千万人を超える新興感染症となりました。昨年末の国内第3波襲来は、佐世保においてもコロナ確保病床が逼迫する事態となり、コロナ受入病院そして保健所関連の皆様の努力によりこの危機が乗り越えられました。その奮闘に敬意を表します。

千住病院はコロナ感染の入院治療を行う病院ではなく、コロナ治療後の入院継続が必要な患者さんを受け入れる後方支援医療機関です。当院はコロナ感染拡大時においても各医療機関からの紹介入院、在宅療養後方支援登録者の緊急入院、救急車受け入れは継続してきました。感染防御能を高めながらの入院受け入れでしたが、職員を含め感染者が一人もでなかったこと、院内クラスターが発生しなかったことは或る面では運にも恵まれたと思っています。

外来や入院、職員のコロナ感染対策に労力を費やし、外来診療体制も病院玄関での体温測定、発熱者はコロナ検査を実施。最初は迅速抗原キット(定性)を使用し

ていましたが、現在は大半がLAMP法で検査しています。検体は唾液より鼻咽頭ぬぐい液が主体です。新規入院時は全てLAMP法での検査となります。職員は微熱や下痢があればコロナ検査の対象とし早期診断、院内感染防止に努めています。緊急事態宣言解除後のリバウンドや感染力・致命率の高い変異ウイルスによる第4波に備え、これからも感染対策は維持していきます。

コロナ感染収束への分岐点となるワクチン接種が医療従事者から始まり、当院職員は3月に1回目の接種が終了しました。副反応は接種部の痛み程度で軽微でした。ワクチン副反応への不安感を払拭し、高齢者、一般市民の当院でのワクチン接種に最大限の協力を行います。ワクチンが国内外に行き渡り、感染収束に向かうことを期待します。

さて、昨年12月23日、24日の両日に5度目となる病院機能評価の訪問審査を受審し、今回が最高の評価を得ました。コロナ禍の中で、日々の業務と準備にあたった職員の皆さんの努力と病院の継続的質向上の成果でした。

喜ばしい結果です。

新入職員が加わり、新年度がスタート！

今年は4月1日付で11名のスタッフが新たに加わり、入職式を迎えました。



新入職員研修の様子



社会人として、医療従事者として、そして雄博会の職員としての心構えを学んで頂きました
地域医療に貢献できる『人財』となる職員を目指して共に頑張りましょう。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 退任の挨拶 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

呼吸器内科医師 入来 隼

1年間という短い期間でしたが、大変お世話になりました。先生方をはじめスタッフの皆様には沢山ご迷惑をおかけしてきましたが、皆様温かく接していただき本当に働きやすく、多くのことを勉強させていただくことができました。

仕事以外の話でも気軽に聞いてくださる方ばかりで、色々な面で助けていただいたように思います。4月からは長崎原爆病院に勤務致します。千住病院とは違う点も多いですが今年度の経験を生かして頑張りたいと思います。

新型コロナウイルスの影響で病院以外での交流がほとんど無かったことが残念ですが、このご縁を大切に、またどこかでお会いできたらと思います。本当にありがとうございました。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 新入職員紹介 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

歯科衛生士 久保山 真樹

2月より勤務することになりました。歯科衛生士の久保山真樹と申します。

学校卒業後、約12年間一般の歯科に勤めてきました。これまでの経験を活かしつつ、新たな分野での知識を増やし患者様のお役に立てるよう頑張ります。宜しくお願い致します。

薬剤科 助手 湊野 望

今年の2月より薬剤科で勤務しております、湊野と申します。

薬局での経験はありますが、不慣れな点も多くご迷惑をおかけするかと思いますが、御指導の程、宜しくお願い致します。

薬剤科 助手 一ノ間 あゆみ

1月より薬剤助手として勤務しています一ノ間あゆみと申します。昨年7月まで医事課で約8年間勤務しており、結婚のタイミングで一度退職しましたが、この度ご縁あって、千住病院でもう一度お世話になることになりました。薬剤科では、入院患者さんの一日ごとの薬を飲み方別にセットしていく作業を行っています。

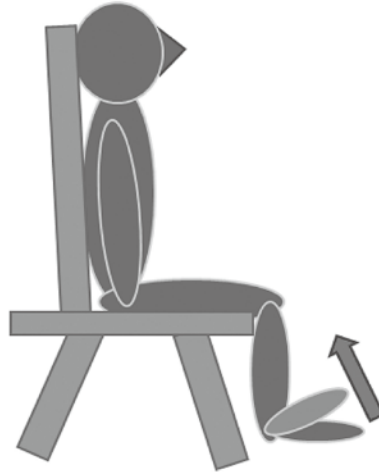
◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 頭と体の体操 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

前号では、手の運動について取り上げました。今回は脚の運動を紹介します。

足部の運動

回数：20回～30回

- ① 椅子に腰かけます
- ② つま先を上げ下げします



大腿四頭筋の運動

回数：10回～20回

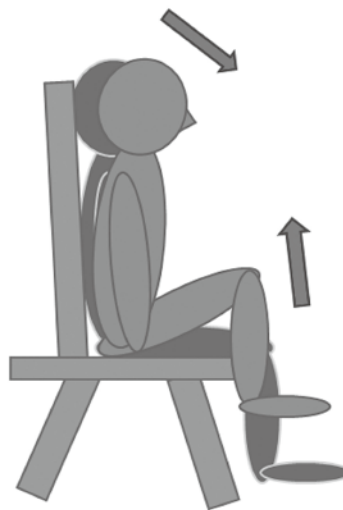
- ① 椅子に腰かけ膝を伸ばし、
つま先を上げます
- ② 約5秒止めます



股関節屈曲運動

回数：20回～30回

- ① 片方の膝を出来るだけ
高く上げます
- ② 同時に体を曲げます
- ③ 体と足をもとに戻します



文責：リハビリテーション科

九州文化学園より学生の方が インターンシップへ見えられました

九州文化学園高校 **松浦 莉奈**

初めて、病院での体験をしてみて、本当に大変なことばかりで私の想像とは全く違いました。特に印象に残っていることは、患者さんにご飯を食べさせてあげている事でした。4日間の経験も参考しながら、将来の夢を考えていこうと思いました。

九州文化学園高校 **石屋 ひなた**

初めてばかりの経験をたくさんさせて頂きました。この4日間、しっかり患者さんとの向き合い方や接し方にもそれぞれ違ったことをしていて、患者さんを思う大切さも知ることが出来たと思います。ありがとうございました。

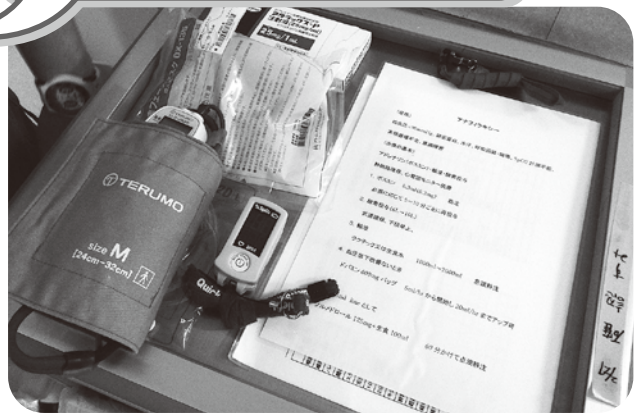


新型コロナワクチン優先接種を実施しました!!

医療従事者等を対象とした新型コロナウイルスワクチンの優先接種を実施致しました。依然として猛威を振るうウイルスへの切り札となることを切に願っております。



万全の体制で接種を行えるようワクチン接種についての検討会を実施しています。



今回のワクチン接種は副反応対応のため、接種後15分間の待機を行うことが要求されています。その為、このように待機スペースを設けております。



新型コロナウイルスワクチンに関するお問い合わせは、佐世保市のコールセンターへお願い致します。

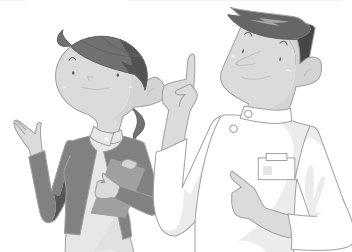
ナビダイヤル：
0570-022-558

訪問リハビリテーションのご案内

訪問リハビリテーションでは、通院が困難な方のご家庭へ、理学療法士、作業療法士等が直接お伺いし、歩行練習、食事動作、コミュニケーションなどの日常生活に直結した練習を実施します。



ご対象者：介護保険利用者(要介護・要支援)
 営業日：月曜日～金曜日(13:30～17:30)
 休業日：土・日・祝祭日・盆休み(8/14～15)、年末年始(12/31、1/1～1/3)
 サービス提供地域：佐世保市内(吉井・小佐々・宇久・江迎・鹿町を除く)
 まずは担当のケアマネージャーに相談しましょう!!
 問合せ先：TEL 0956(24)1010 千住病院 地域連携室



千住病院 外来担当医師のご案内

診察時間 曜日	午前 (受付8:30～12:00) 9:00～12:30	午後 (専門外来のみ 予約制) 14:00～16:00
	月	福田(神経内科) ト部(呼吸器内科)
火	東(内分泌内科) 入船(呼吸器内科)	籠手田(緩和ケア) 新患
水	谷岡(消化器内科) ト部(呼吸器内科)	籠手田(緩和ケア) 再診
木	千住(消化器内科) 田中(呼吸器内科)	福田(脳神経内科) 西川(腎臓)
金	金沢(消化器内科) 佐藤(循環器内科)	籠手田(血液)
土	交代制	休診

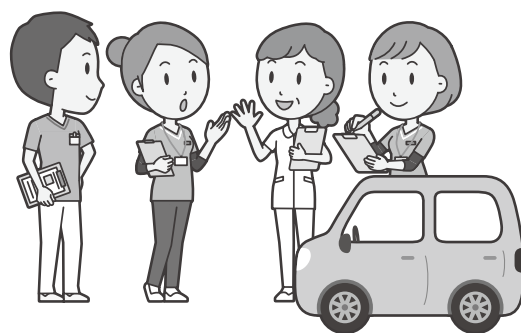
千住病院・千住ビル往復シャトルバス運行表

病院(宮地町)発	千住ビル(栄町)発
午 前	
8時(07,23,43)分	8時(15,30,50)分
9時(03,23,43)分	9時(10,30,50)分
10時(03,23,43)分	10時(10,30,50)分
11時(03,23,43)分	11時(10,30,50)分
12時(03,23,53)分	12時(10,30)分
13時(30)分	13時(00,37)分
14時(00,30)分	14時(07,37)分
15時(00,30)分	15時(07,37)分
16時00分	16時07分

※乗車される際のマスク着用、検温、手指消毒にご協力下さい。

訪問看護・居宅介護支援のご案内

訪問看護では24時間の緊急連絡にも対応し、終末期の在宅ケアに力を注いでいます。
 また、作業療法士も1名常勤しており訪問リハビリを実施しております。ケアマネージャーが4名おり、介護保険全般に関すること等、ご家族も含めて相談に応じています。
 お気軽にご相談にお越し下さい。



編 集 後 記

新型コロナが発生して1年が経とうとしています。飲食・エンタメ業界では未だに自粛ムードが続いており、私も自粛をしていました。私は、年間30本近く映画を見に行くのですが昨年度は緊急事態宣言の合間に5本程でした。邦画では歴代興行収入1位更新の話題で盛り上がっていましたが、私が主にみるハリウッド大作は軒並み公開延期が続いています。今年度は新型コロナのワクチン接種が始まります。早く元の生活に戻れるよう切に願っています。

臨床検査科 前田

■ 地域包括ケア病棟のお知らせ

地域包括ケア病棟とは、

- ①急性期医療を終了した後の患者様が在宅や施設へ退院するための医療管理・リハビリ・看護などを行う病棟
- ②在宅療養中の患者様に入院が必要になった時、在宅医からの依頼を受けて入院をお受けする病棟です。

また、在宅復帰支援計画に基づき医療チーム(医師・看護師・リハビリ担当者・MSW等)が退院へ向けての支援を行います。

当病棟での入院期間は基本60日が限度ですが、状態により調整いたします。

ご入院のご希望は地域医療連携室まで、お問い合わせをお願い致します。



■ 介護医療院とは？

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることが出来るよう、医療・介護・予防・住まい、生活支援が確保される体制のなかでつくられました。

長期的な医療と介護のニーズを併せ持つ高齢者を対象に「生活施設」としての機能、「日常的な医学管理」や「看取りやターミナルケア」などの医療機能を兼ね備えた施設です。

2018年4月1日に開設され、2フロア合計75床あり、リハビリやお誕生会、ボランティアの方との交流会などレクレーションも開催しています。医師・看護師・介護職員、歯科医・歯科衛生士、管理栄養士、リハビリ訓練士、相談員などと連携しご利用者様とごご家族様への支援を行っています。



雄 博 会 理 念

◎ 理 念

最新の医療とこころ温まる看護・介護を安全に提供できるよう絶えず努力します。

◎ 基本方針

- (1) 患者様の人権を尊重し、誠意と責任をもって、患者様とご家族の立場に立った最善の医療・看護・介護を提供します。
- (2) 医療連携を推進し、地域に信頼され、地域に貢献できる医療機関であることに努めます。
- (3) 研修・教育を通して常に向上心を培い、質の高い最新の医療が実践できるように絶えず努力します。
- (4) チーム医療をもって社会復帰や在宅を支援すると同時に、地域の健康増進のための医療サービスを提供します。
- (5) 患者様の心身の痛みに対し、最善の緩和医療を提供し、患者様とご家族を支援します。

◎ 患者様の権利

- (1) 患者様は、適切で質の良い医療を受ける権利を有します。
- (2) 患者様は、ご自分の医療の内容について知る権利とわかりやすい言葉で説明を受ける権利を有します。
- (3) 患者様は、人格を尊重されプライバシーを保護される権利を有します。
- (4) 患者様は、ご自分の医療の内容について自由に選択し決定する権利を有します。
- (5) 患者様は、ご自分の医療にかかる情報を入手できる権利を有します。
- (6) 患者様は、ご自分の受ける医療について他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利を有します。



□ 病 院 □ 介護医療院

〒857-0026 佐世保市宮地町 5-5
TEL 0956-24-1010 FAX 0956-24-8590
<http://www.1010hosp.or.jp>

□ 訪問看護ステーション □ 指定居宅介護支援事業所

〒857-0026 佐世保市宮地町 5-5
TEL 0956-23-9273 FAX 0956-23-9274

【広報委員会】

《委員長》村井 春樹
《副委員長》前田 康幸
《委員》千住 雅博・大島 文子・川久保知恵・米倉 久美
内田 恵美・内野 保則・原 大・金子 陽子
《印刷》(有)プリメックス